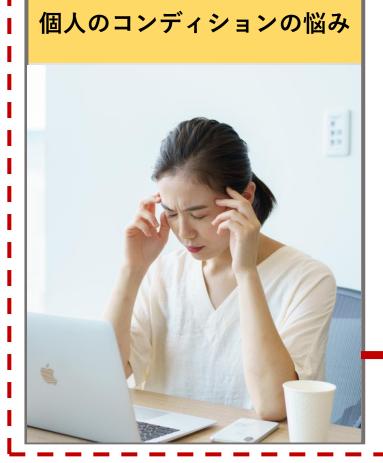
人とチームと企業を 前向きにととのえる

TOTONOECU

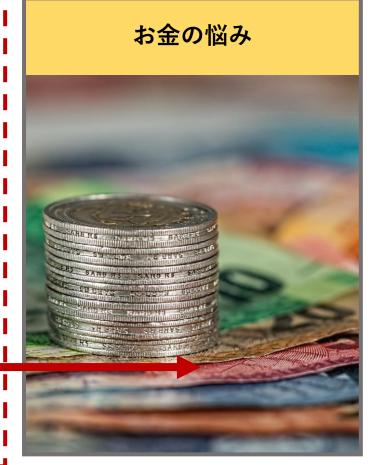


TOTONOCCU がフォーカスする課題

個人のコンディションで悩んでいる・不安になっていると後ろ向きな気持ちで時間だけが消費されてしまいます。 それはコミュニケーションの悩みやパフォーマンスに影響しお金の悩みにも連鎖していきます。 TOTONOERUは個人のコンディションの悩み・コミュニケーションの悩みを"ととのえる"環境を創ります。







TOTONOECU が目指すこと

3か月の短期間で女性特有の健康課題と職場のコミュニケーションを 「着るだけ」「知るだけ」の手間でととのえる 前向きにいきいきと活躍できる環境を創ります

女性特有の健康課題 によるプレゼンティズム

職場のコミュニケーション課題

着ている間にととのえる



起電する機能性衣類 「3e-HARAMAKI」

思考のクセを知りととのえる 社員の脳と話そう。



脳医科学診断プログラム 「ノウセツ」

TOTONOCCU が目指すソリューションと結果

個人のコンディションの悩み

女性特有の健康課題による イマイチな時間 150~300時間/月

手間と時間とリテラシーが 必要な対処方法

コミュニケーションの悩み

コミュニケーションを どうしたら良いか いつも難しい 着るだけの簡単な方法で アクティブな時間へ

自分と相手の思考の癖を 数値で傾向を理解し 円滑なコミュニケーション環境へ

TOTONOCCU 実証事業プログラムの全体像(企業及びチームスポーツ)

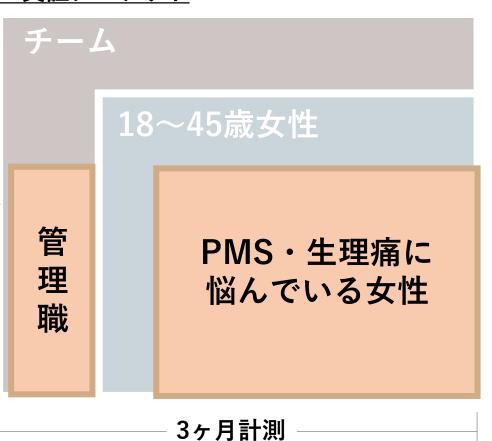
■プログラム利用前

【アンケート】

- ・PMS・生理痛症状
- ・パフォーマンス状況
- ・時間の状況
- 【ノウセツ測定】
- ・思考のクセ
- ・メンタル状況

■実証ターゲット

TOTONOERU



3e-HARAMAKI

ノウセツ

■アウトカム

女性のプレゼンティズム改善

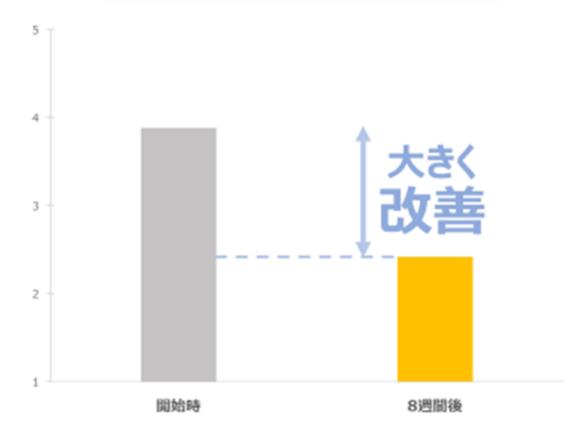


- ・PMS・生理痛症状の変化
- ・パフォーマンス状況の変化
- ・時間の変化
- ・思考のクセの変化
- ・メンタル状況の変化

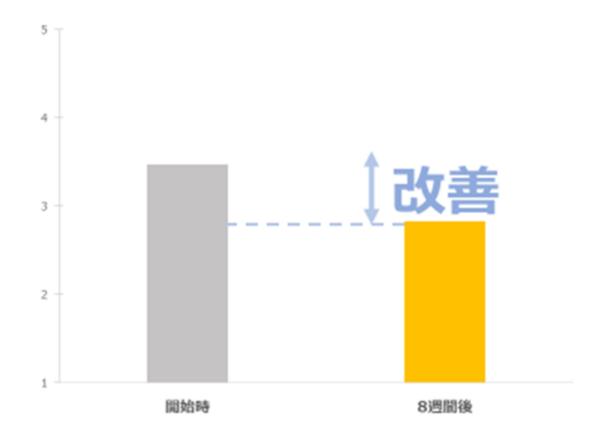
実証事業後アウトプットイメージ

TOTONOC「U 症状の変化(カテゴリ別)

<u>イライラ・不安など</u>

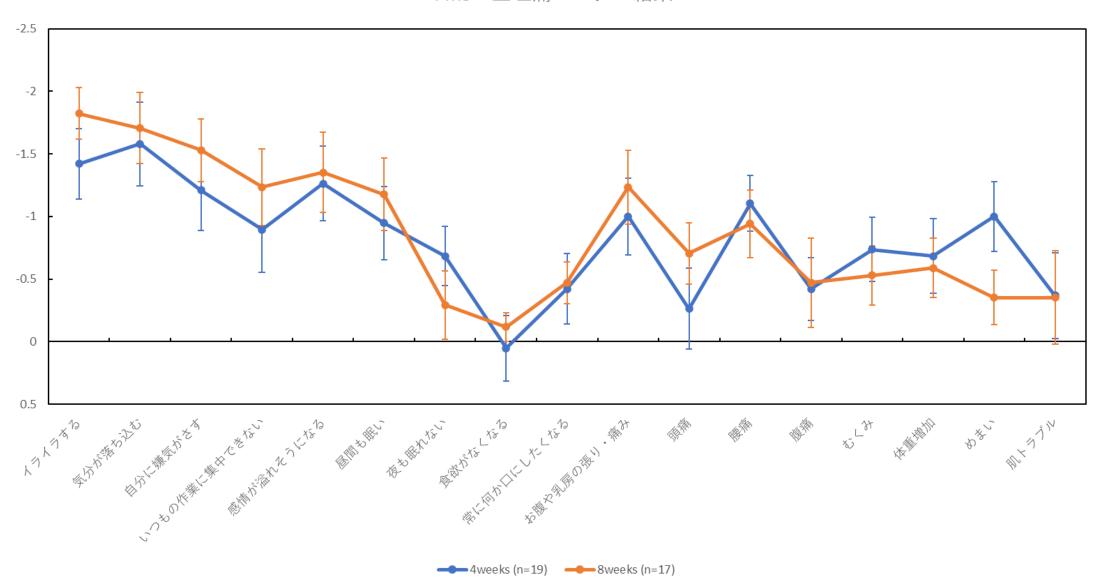


頭痛・腰痛・腹痛



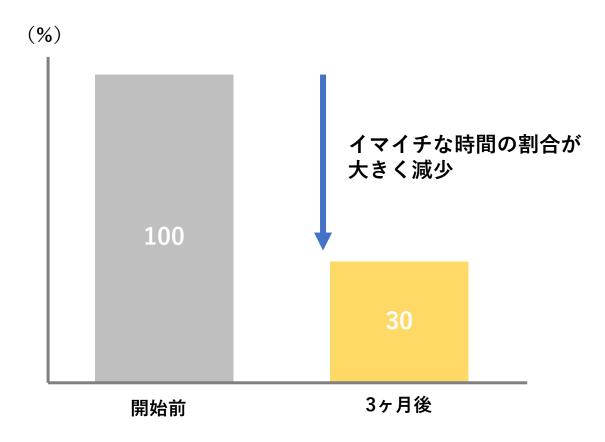
TOTONOCCU症状の変化(全項目)

PMS・生理痛モニター結果

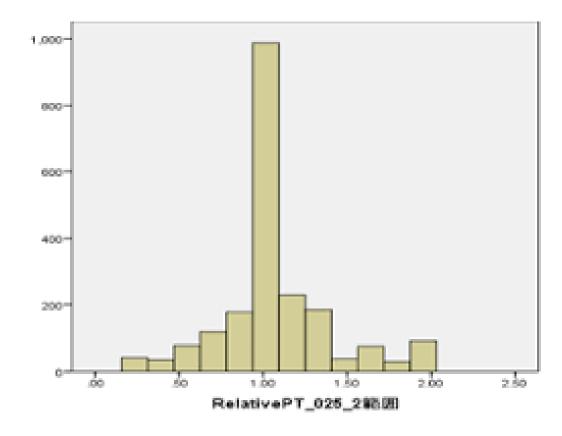


TOTONOCCU プレゼンティーズム(業務パフォーマンス)

生理・PMSに伴う体の不調が 仕事や日常生活に影響を及ぼす時間



自身の仕事のパフォーマンス(WHO-HPQ) 絶対的プレセンティズム・相対的プレセンティズム 分布推移



TOTONOCCU労働損失削減実績(実証実験協力者)

- ✓ 日常生活へ影響が出る時間は1ヶ月あたり、□□時間改善(●●時間→○○時間)
- ✓ 仕事のパフォーマンスは、○○pt改善(○○pt→○○pt)



■対象社員1人あたりの労働損失改善試算額 約○○○万円/年

(前提)

- •45才以下の女性社員:約○○人
- •月経随伴症状の重度社員2%、中度社員17.5%(合計19.5%)と仮定※バイエル薬局調査
- •社員1人あたりの給与を日当○万円と仮定
- ①1人あたり労働損失試算額(現状)○○万円/年:日当○万円×2.0日×(1-65%)×12か月
- ②1人あたり労働損失試算額(TOTONOERU利用後) ○万円/年:日当○万円×1.07日×(1-85%)×12か月

- ③1人あたり労働損失試算額計○○万円/年:①②
- ④対象社員数想定○○○人:想定女性社員○○○人x月経随伴症状重度/中度社員19.5%
- ⑤全社の労働損失改善ポテンシャル約○○○万円/年:③x④

TOTONOCCU アウトプットイメージ:思考のクセを知りととのえる(個人)

思考のクセ

メンタル状態

B-Brain テスト結果表

2022-06-09

USR37331 アカウント ID

2 あなたの脳活用度

物脳マイナス

大脳新皮質

動物脳プラス

90

83

63

ストレス耐性

B-Brain テスト結果表

3 あなたのストレス耐性

1 あなたの脳タイプは

左脳全体優位タイプ



201128_3500

あなたの脳タイプ解説

論理思考を持ち、ルールを重視し、計画的に物 事を遂行できるタイプです。問題を解決できる 能力を持ち、組織のリーダーとなれる人です。 反面、新規性にはやや欠け、人脈作りは得意で はありません。

妥協が苦手で、人からのアドバイスは聞き入れ ない傾向があるので、ご注意ください。また、 自分の理想と合理性を重視するあまり、周囲か ら人間味がないと敬遠されてしまう可能性があ ります。

~アドバイス~

喜怒哀楽の内の喜、楽を時にさらけ出してみる ことも人間関係の潤滑剤となることもあるので 意識してみましょう。

自分の目的を遂行していく上で協力者は欠かせ ません。特に人への配慮を心掛けてください。

★4つの基本脳タイプ 左脳3次元 台灣美術



左脳 2 次元 四柱 湯 言語の中枢、豊富な知識を蒸える脳の領域

幸せを感じるとき ルール通り、スケジュール通りに進んでいるとき。 数値で目標を達成できたとき。 苦手とする状況 ・概みどころのない始命的な想。象な予定変更。 ・自分の価値観への異論や裁判。

空間認識、注意力に関係し、行動を促す脳の領域 自分の人間関係や環境を広げることを整視する。 独創性に長け、周囲の人間を参考込んでい

幸せを感じるとき ・新しいことを始めるとき。 自由早配をしているとき。 苦手とする状況 ・時間の限約や規制などを受けるとき。・さい習慣を押し付けられるとき。

感情、視覚記憶、音楽に関係し、情緒に働く脳の領域

茶手とする状況 ・理解や理論が先行する影響。

能動脳・受動脳バランス 能動脳 受動脳 ・自分の関係者が享得を感じているとき。 ・人から残られたとき。 脳の後部領域:周囲からの情報 _{間後}部領域 || 脳の前部領域:収集した情報を 相手の表情が乏しかったり、目録を合わさないとき。 を収集するカ

現在のあなたは標準的なストレス耐性の状態です 。多少のストレスには適応できますが、過度のス トレスや自身の苦手な状況下では対応に戸惑い不 安や焦り、イライラ感じる可能性が指摘されます

一日の生活の中に深呼吸(※目を閉じて、特に吐 くことに意識を向ける)を細めに取り入れましょ **|う。出来事に対してあまり、良い悪いと評価せず** に脳タイプの結果を参考に自分の得意な脳の使い 方を活かすようにしていきましょう。

ストレス耐性 理想値70以上

ストレスにどれだけ耐えられるかという強さ。

ストレスに対する感情のコントロールレベルと変化への適応度を示す。

動物脳プラス 理想値70~80 情動や食欲、性欲など本能に関わる、本能な脳の使い方。

適切に使われれば、脳の発達を促すとても大事な機能になる。 動物脳マイナス 理想値 30以下

ストレスに対して、攻撃的 (イライラ・怒りなど) または逃避的 (不安・ 表しみなど)になる感情的な反応。プラスに働けば、人に対して協力 的になったり思いやりを持ったりできる。

人間腦 理想值 70 以上

人や社会の役に立てるよう自他を育てる力。

人としての生き方、人間学を学び、寛容さ、協調性、ポジティブシン キングなどを意識して身に着けることで脳の「強み」を活かす基盤に

上記4項目が理想値になると

集中力、発援力、深察力が増加する。 ・対人関係がより充実する。 自己実現が可能となりやすい。 ・健康な状態が保たれる。 仕事のパフォーマンスが向上する。 ・強くて、しなやかな精神の持続。

困難に打ち売つ力が増加する。

用語解説

帯状回

大脳辺縁系の各部位を結びつける役割を果た しており、感情の形成と処理、学習と記憶に

活性すると感情の起伏や過度な本能的欲求を 抑制すると報告されている。

機能が低下すると上記と逆作用となる。 瞑想を行うと活性化することが証明され、注 目が集まっている。

側坐核

前頭連合野を助け 行動意欲に繋げる役割を する。ドーパミンに関連する部位のため一般 的には「やる気」を出させることでも有名だ が、報酬系、快楽依存、不安などにも関連し ていて複雑な特性をもつ。

情動的な出来事に関連付けられる記憶の形成 と貯蔵における主要な役割を担う。 喜怒哀楽、恐怖、逃避、攻撃など多岐にわた

る情動に関連している。

大脳新皮質

高等動物が発達しており、特に人間は顕著に 発達している。

言語機能や情報収集・分析、思考、推理など 知性を司る領域。

BioLT 株式会社バイオエルティ

TEL 050-3775-9315

URL http://www.biolt.co.jp



3次元・2次元バランス

50

3次元

50

言語や論理、計算や時間に関連する大脳 左脳 の領域

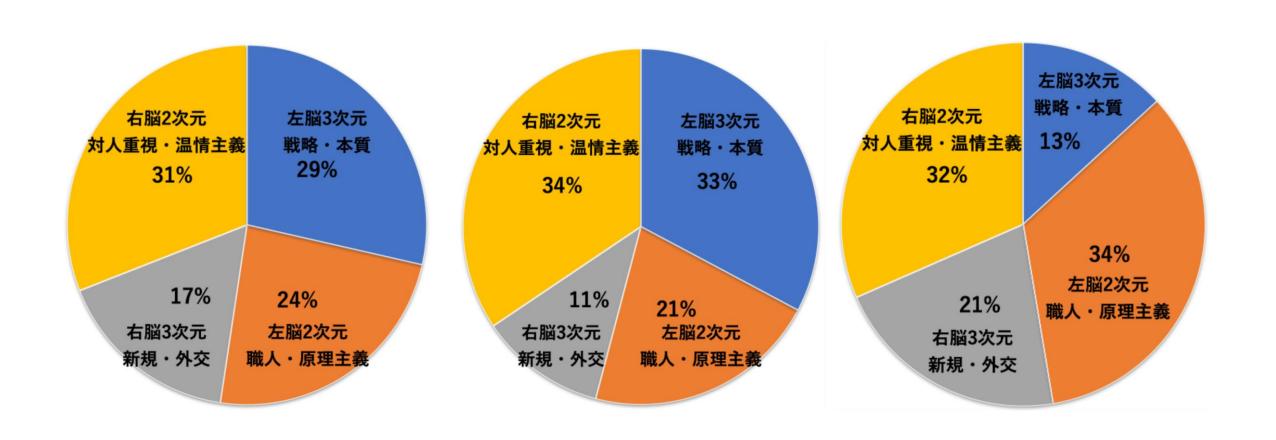
情緒や感性、視覚や音楽などに関連する 大脳の領域

3次元脳 自分を中心に据え、全体を俯瞰した情報 処理を行う

相手を中心に捉え、詳細な情報処理を行

中

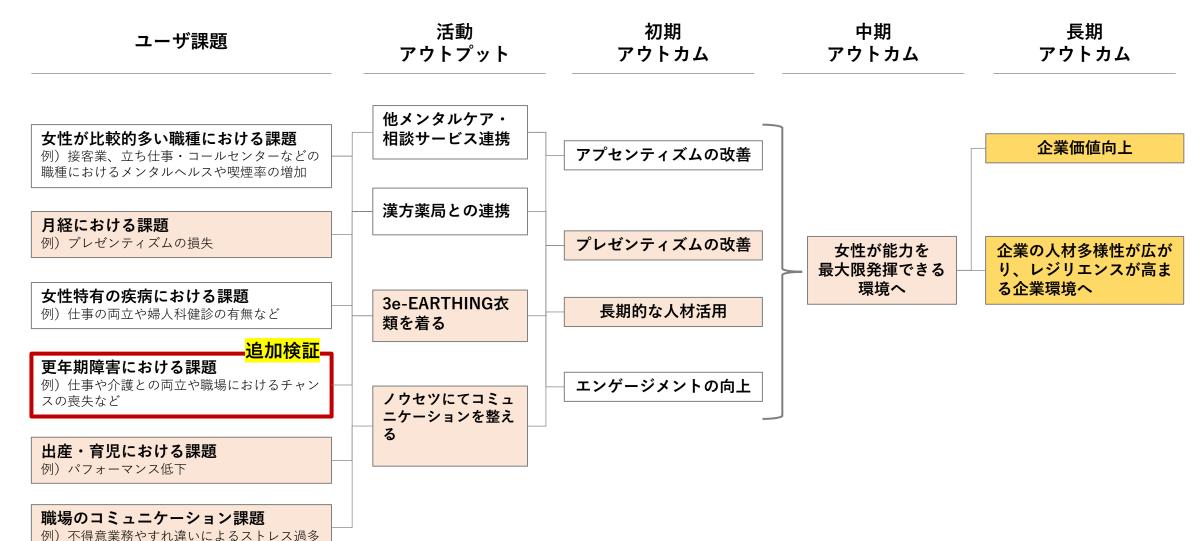
TOTONOECU アウトプットイメージ:思考のクセ(チームメンバー比率)



事業計画に基づき実施した内容について

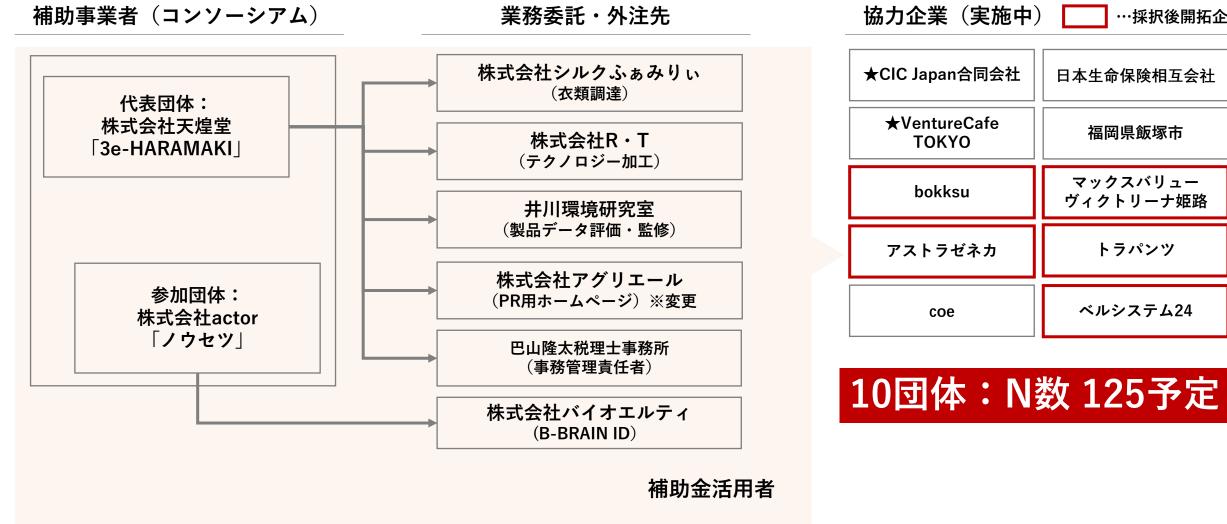
TOTONOE「U アウトカム達成に向けて

月経における課題、出産・育児における課題、職場のコミュニケーション課題に対してソリューションを提供。 更年期障害における課題において、3e-HARAMAKI利用ユーザの声と協力企業からの声から追加検証を実施予定。



TOTONOCCU の実行体制

職種・組織体制の多様性を考慮し協力企業の開拓し、営業・接客・運用の対面でのコミュニケーションが必要な企業、 コンディション・コミュニケーションがより重要なプロスポーツチームでの実証事業を進めています。





TOTONOCCU のプログラム実施内容

事前調整

- ・企業担当者への趣旨説明
- ・窓口担当者の設定
- ・協力者の調整
- ・STEP0の日程調整

STEP0

- ・協力者向け趣旨説明
- ·連絡用公式LINE登録

(オンラインでの説明)

STEP1までに ノウセツ登録

STEP1(開始)

- ・ノウセツセッション
- ・PMS・生理痛アンケート
- · 3e-HARAMAKI配布

(リアルでの集合研修)

STEP2(3ヶ月後)

- ・ノウセツ登録
- ・PMS・生理痛アンケート
- ・データ集計









協力者募集ポスター

経済産業省 フェムテック サポートサービス

TOTONOECU

実証事業モニター募集!

■実証事業モニター募集概要

PMS・生理痛によるイマイチな時間を「着るだけ」で前向きな時間に変換する「3e-HARAMAKI」、コミュニケーションを思考のクセを理解することで整える「ノウセツ」この2つで人とチームと企業をととのえることを実証するモニター協力となります。

■モニター実施内容

期間:3ヶ月間(11月末~2月末) 対象:18歳~45歳女性 実施内容:3e-HARAMAKIの着用、ノウセツの実施、各種アンケート

モニター特典(モニター後そのままプレゼント)



身につけている間にととのえる 3e-HARAMAKI (オールシーズン用) ロングタイプ 2枚 15,800円相当分



思考のクセを理解する 「ノウセツ」 2回分 10,000円分

リアルでのノウセツセッション・3e-HARAMAKIお渡し



TOTONOCCU のプログラム実施後の課題と対策について

	事前調整	STEP0	STEP1(開始)	STEP2(3ヶ月後)
	・企業担当者への趣旨説明 ・窓口担当者の設定 ・協力者の調整 ・STEP0の日程調整	・協力者向け趣旨説明 ・連絡用公式LINE登録 STEP1までに ノウセツ登録	・ノウセツ全体セッション ・PMS・生理痛アンケート ・3e-HARAMAKI配布	・ノウセツ登録 ・PMS・生理痛アンケート ・データ集計
課題	調整に時間がかかる ・ <mark>協力者の調整</mark> 手を挙げるのにPMS・生理 痛がしんどいと周りから思われてしまうのが嫌かも ・集まる日程の調整	・ノウセツ登録がSTEP1 までギリギリにならないと されないケースがある (セッションまとめまでの 時間が足りなくなる) ・全員が参加できない	・ノウセツセッションにて 質問がそれほどでてこない ・個別質問が後ほどくる ・全員が参加できない	実証実験完了後
対策 実施	・本商用時はPMS・生理痛 だけでなく女性全員へ導入す ることを提案 (更年期も検証が必要)	・STEP0内でノウセツを 実施していただく ・趣旨の簡易説明動画を 作成し欠席者へ展開する	・ノウセツの個別相談会を 企画する ・ノウセツの個別相談につ いては有償で検証する	**************************************

TOTONOECU のポジティブフィードバック



起電する機能性衣類 「3e-HARAMAKI」

ユーザーの声は「いつもよりがんばれてる感じです」との声を頂いたりポジティブな声を頂いております。 サンプル数は少ない状況ですが1ヶ月目の症状アンケートに関してPMS・生理痛が強いと思っている人と症状毎のデータの相関が強い「気分が落ち込む」「頭痛」「腹痛」「めまい」のスコアが減少していることを確認できています。

社員の脳と話そう。



脳医科学診断プログラム 「ノウセツ」

「分析があまりに的を得ており、改めてノウセツの凄さを感じました。この情報は本実証管理者に共有をさせて頂くと同時に人事課にも提供を考えています。」

TOTONOCCU 今後実施すること まとめ

サポート範囲の拡大	更年期症状に対する効果検証(3e-HARAMAKI) 検証期間は約1ヶ月程度
協力企業の開拓調整	11月末まで引き続き調整予定
プログラム実施内容	■ノウセツ部分 ・STEP0にてノウセツをそのまま実施 ・個別相談会を企画する ・オンラインでSTEP1(ノウセツセッション)を試行する など
本格導入に向けて	各協力企業ヘヒアリングを実施していく